

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「特設の人の施設」化と見られ ないよう、開放的に事業招待に 力を入れている	○ 地域老人会との交流は進んで いるが、老人会に限らない高齢 者とのゆとりを強める。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	毎日、最低1回の全職員会議 を開催して、理念の共有に努め ている。	○ 更に、他の事業所、施設との 交流も研修として行う。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にされた理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえるよう取り組んで いる	地域や家族との交流に努力 している。各種行事の招待、 (日常の訪問を歓迎)	○ 地域の利用者(入所者過半数) が多いので、更に交流を拡大して ゆく(各種行事の強化)
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている	隣近所の人達と職員は、各種行 事や交流し、気軽に日常的なつ きあいでいる	○ 他市町村在住の職員と隣近所 の人達との日常の交流を促す よう努める。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている	地域活動には積極的参加	○ 地元老人会への参加を進める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	地域の高齢者の生活支援 に役立つよう努めている	○	地域高齢者の生活支援、 通院外費も更に強化する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	市社協、行政関係者、研修 会に参加する中で、改善に努め ている。	○	評価の意義、活用の学習会 を強化している。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	運営推進会議は、強化した ばかりである。	○	更に強化し、2回以上 開催できるようにしている。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	連携強化に努めている。	○	特設者のみの、市との交流接 触ではなく、全職員の交流機会 をもつようにしている。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	事業所の担当者以外にも 学習機会を拡大している (顧問弁護士との同回の学習会)	○	権利擁護事業、後見制度に は関心があり、身近な問題 への学習強化する。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	身近な問題で「虐待」にかかる 業の防止に努めている	○	利用者の差別感が「虐待」 につながる意識を強化防止 に努める

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・家族との理解を深め たり、方向性や、その他 に話し合っている	○	訪問の時に家族 送りの家族との理解のため 情報紙の発行がある。
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満、苦情に ついては、全体会議で討議し ている	○	1) 利用者アンケート(無記名)を 実施している。 2) 家族会(知人友人)と定期開催
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	健康状態の報告。 金銭管理は、厳格にしている	○	家族同士の自由集會。 討議をいじやしている。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見は、管理者から 聴取して、運営に反映している。	○	家族会議の議定を 協議している。来年度目標。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見は、個々の面を とって、全体会議で自由討 議している。	○	職員協議会での認識 をお互い契っている。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	計画とおりの進行には合わせ らなければ管理努力している。	○	業急の変化、希望要望にも 応えらるよう人員配置待機備 も整えている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	転職の異動は極力行わない。 本人の申出により、不適合と 思われる場合のみ。	○	やむを得ない異動発令の場合に 内米後、利用者との反応をみて 異動させたい。(特殊の場合)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	福祉人材の育成は重要 で、福祉労働者のイメージ の改善を促したい。	○	福祉上の取組は、経験浅い者が 多く、職場の労働条件もある。 時間、賃金の改善をしてほしい。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の交流は、運営管理 者は好んでいない。 転職相互間の取組を 促したい。	○	同業者交流は、運営者との 協議で前進させたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	出張外出、リクリエーション には利用者と共に行き強化した い。	○	管理運営者の干渉管理を極力 抑えて、転職同志の自主管理と 協議決定を推進している。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	給与改善、地位向上など 職場の改善化と待遇改善 を求めている。	○	賃金労働条件、職場環境 を改善して、明るい職場の実現 に労使が力を盡している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者との信頼関係は、誠意と奉仕により向上するように努めている	○ 入所の募集、紹介費などを通じて一層多くの男性をしたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族との対応、連絡など日常のコミュニケーションを大切に努めている。	○ 家族会(利用者の家族、友人、知人も含む)の定期開催で信頼を高めている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の意見要望を十分に活かしてゆく努力をしている。	○ 利用申込時に予め行政、家族、地域関係を尋ねて情報とを共有している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の大半が、従来からの知人であり、なじみながらのサービスには十分留意している	○ ○適切なヘルパー担当者が出る ○食事、趣味、心のケアに配慮した処遇に努める。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	友人関係、趣味の追求など多面的に努めている。	○ ○集団生活に馴れるための特別支援 ○ヘルパーの理解

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	親族遠方に居住し家族支援に欠ける利用者には、身近かにして親族的支援に努力。	○	常に、同一家族の絆を 活かしてゆく。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	常に情報を提供して(手紙、写真、etc)絆の維持に努めている。	○	手紙や写真、催事は常にお招待 するなど、更に強めていく。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの招待(各種催事)などに努めている。	○	入所者の、馴染み者との関係の 作成利用を進めたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関わりを 生み出すための工夫。	○	利用者同志の付添いは交 渉型に付添いを援助してゆく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用終了後との関わりは 現在のところない。	○	一方的な関係断ちはない。 今後の検討したい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位の介護計画を実施 認知症の病状により、意向の把握に困難性がある。	○ 帰宅原望の強く、家族と共に適切な対策を検討している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴の把握は介護に十分活かしている。	○ 健康な入所以前の生活への把握と発症後の差異、環境改善に努めている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	希望により、野外の活動を多く取り入れた介護に努めている。	○ 自宅復帰、入所生活を短期(2~3日)にくり返して入所生活の確立に活用している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人本位の介護計画作成に努めている。 本人家族と協議、了承を得るに努めている。	○ 介護計画とそれに基く介護サービスの徹底実践に努めている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人の状態の変化に応じて計画を見直している。	○ 変化に応じてサービスも計画見直し、対応の必要に応じてに努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を重視して、情報把握に努力。介護計画見直しに活かしている	○	介護計画の見直しに、情報情報を活用して、実効を上げたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	介護スタッフの専門性を活かして、地域に貢献できるよう努力している。	○	各専門職種を十分に活用できている。今後、介護人員増加を伴って専門職員の増強を保障したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	民間の資源の活用、協働をすすめていく。	○	公的機関、組織は別として文化(絵手紙、花茶)的行事によるケアの活用拡大をしてみたい。
41 ()他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他サービスの活用、人材の活用、最の公(国系事業者)と非常には支援、相互支援を強化している。	○	民間訪問事業者は、業務の繁忙がある。この余力をさらに花に投入してサービス充実をはかる
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターの活用は不可欠と感じている。	○	包括支援センターとの協働は進んでいる。今後強化していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>遠方の医、 専門性の不適) など、整理 改善あり</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>専門医と経験ある介護士 による支援体制を確立する。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>認知症に経験ある介護士 確保。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>協力病院との協働、 入院病院との協力体制を 更に強化している。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>重症、終末期の病内援助体 制は、今後、強化したい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>重症、終末期の支援チームの 体制強化を検討し、早期に開始 する。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>住み替えの例一件あり。 グループホームが遠いと判断している情報、援助した。</p>	○	<p>住み替えの希望がある場合は適切な援助をしている。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人一人のプライバシーの尊重と態度に注意を払っている。</p>	○	<p>プライバシーの確保は業務上の課題として重視している。</p>
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表明や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日常生活での会話と大切に本人から自発的な意思表示を促すように努めている。</p>	○	<p>介護担当者として、本人の意思を尊重し、自己決定の支援に努めている。</p>
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員の都合を優先することは、本人のペースを尊重し、改善している。</p>	○	<p>特に意思表明の少ない人には留意して希望を聴取する努力をしている。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の希望、信念を大切に、手際は努力している。</p>	○	<p>理容・美容は好みの店に、出張も月に一回で継続して行っている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>個室の一角に準備、片付けの作業の実践できるお部屋をつくる。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>日常、楽しみ会、催事の場はあつめる。リラックスし、快活に過ごせる環境作りをする。目的。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>食事と排泄、薬使用の節減に努めて、正常排便を進める。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>週3回への改善したい 得率は、希望する日・回数へ</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>安眠は適切な運動、就床時間の自由、たばこ、安眠確保を図る。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>個人の能力・役割を重視し、能力活用にて自信につなげている</p> <p>個人の能力・役割を重視し、能力活用にて自信につなげている</p>


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金所持は自由であり、自由に使うの支援を強めている。(計画支出と守ろう)	○	小遣は自由管理に、必要品は家族等の希望で支給する。
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自分中心ではなく、他人の外出を見守り、共に外出することを希望する。自分の計画を中心に。	○	病院の外出が多いが、計画的に、希望地の外出を支援して。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	計画的に、毎月外出を支援している。	○	外出希望を尊重して計画的に実施してゆきたい。外出希望の人も誘導したい。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙の書き方を教えるには進めている。 電話も極力支援している	○	時間制限もゆるくして、支援している。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人の訪問は自由であり、訪問者も多い。	○	入所者によって、訪問のたいがいは、友人、知人にもゆとりが多い。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は、全面禁止している。	○	「止むを得ない場合」行ったりして、肉體も、完全禁止するよう努める。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵かけ禁止の旗 で取り組んでいる	○	とむを得ない場合に鍵かけ があるが、全禁止をよりよう 努力していく。
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	要安全確認者は 教員も更に安全対 策を進める。	○	建物外にある原電 線とか、屋外に安全対策を 考える。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	特に重要な物品は 日常生活に保管しない (自覚が保管者)	○	貴重品、危険物の共同保管 室を設けて管理したい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	急病への注意と 特に夜間の見回りを行う	○	この取り組みの記録と全員 を討議して、再発防止に 取り組む。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	この取り組みはさらに 後は定期的に行っていく。	○	2ヶ月に1回、消防署や 医師との定期学習会を行 なす。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災対策は特に注意 している。	○	消防団を組織して 責任者を中心に災害に努 力する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている		○	家族との話し合いをもつと 密にしていける。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気付いた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	少人数であり、常に情報 共有している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量について理解し ており、服薬の支援と症状の変化の確認に 努めている	看護師・介護士で取りく みしている。	○	適切な服薬の推進と 時間的に対応を指導してゆく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解 し、予防と対応のための飲食物の工夫や身 体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	看護師を中心に、常に留 意している。	○	薬物依存のみではなく、食 生活改善、運動療法を加 えて対応してゆく。
76	○口腔内の清潔保持 口腔内の汚れや臭いが生じないように、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた 支援をしている	看護師を中心に、全員で 努力している。	○	拒否反応の利用者に対して 強制せず、積極的に改善意 欲のあるよう支援する。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	看護師を中心に 常に留意している。	○	身体介護重視の外的支 援のみではなく、内的・生理的 な支援対策を怠らなく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	看護士を中心に、医療 情報と留意点を守る	○	協力病院医師に 医療健康教室の開催
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	器具の管理は徹底している 食材は常に新鮮に留意	○	地域農家の供給が多い ので新鮮な衛生に留意
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周辺に花を植える 野菜果物の植栽をしている	○	人々の希望を聞き、 希望ある植栽を進める
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	山林の中で、金作と2人の 居心地はよくなっている	○	余り地が多くあり、人々の 小規模農園づくりにより なっている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	常に観察し注意と怠り 共同で歓びを分かち合う。	○	人々より、2~3人の仲間を 作り、共同で行動できるように 働きかけていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	居室を自由に過ごすように 努力。家具家電持ち込み 自由です。	○	通気改善、暖冷房調整、清潔 掃除など、明るく志向を 注意してやる。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないう 換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	空気が暖かい調節には 特に夜間にも気を付けている	○	特に、自己判断の弱い人 には共に行動し日常習慣と して認識できるように支援する
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	日常生活の態様を観察して 一人一人の条件に合うよう細心 の注意を払う	○	敷布、マット類は極力避ける。 通路、トイレは手すり位置、 侯所、入浴は利用しやすい
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	残存しているわかる力は 活用して手伝いを受け、 私事についても責任とサポート	○	日々進行する身心の衰えを記録 して全員で討議、専門家の指 導も取り入れておく。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	建物の外周りは、一般家庭 のように入口、川口を繋いでいる	○	年2回、シルバーセンター に依頼している。原は努力中。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない 推進会議は11回、年内2回回の計画。
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない 社勤や勤怠日も振つければ作業に努めている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない ほぼ満足と思えます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない ほぼ満足、安心という事で思えます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入所者の比率では、麻生地区が8人(同地域5人)と、正に地域密着入所です。県外語でもなく、日常生活圏の利用者です。日常の訪問、交流も地元同士が多く、同業家族の一見して交通行事にも気軽に参加しています。訪問、外出自由です。取組の雰囲気は、感覚は大変ですが、何か一軒の民家同様の日常が見られる、という事業所です。